

小山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0026		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	物質工学科		対象学年		2		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	「新文学国語」(三省堂)、「新文学国語学習課題ノート」(三省堂)、「新論理国語」(三省堂)、「新論理国語学習課題ノート」(三省堂)、「評論速読トレーニング1500」(数研出版)、「漢検 漢字学習トレーニング 3/準2/2級」(漢検協会)、「新国語便覧」(第一学習社)						
担当教員	中田 幸子						
到達目標							
1. 日本語を通じて的確に理解し適切に表現する能力を伸ばし、伝え合う力を高めることができる。 2. 論理的かつ主体的に思考し、判断し、表現する姿勢を持つことができる。 3. 伝統的な言語文化への関心を深め、豊かな心情や想像力を養うことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	日本語を通じて的確に理解し適切に表現する能力が十分に伸張され、伝え合う力が十分に高められている。		日本語を通じて的確に理解し適切に表現する能力が伸張され、伝え合う力が高められている。		日本語を通じて的確に理解し適切に表現する能力が伸張されておらず、伝え合う力が高められていない。		
評価項目2	論理的かつ主体的に思考し、判断し、表現する姿勢が十分に養われている。		論理的かつ主体的に思考し、判断し、表現する姿勢が養われている。		論理的かつ主体的に思考し、判断し、表現する姿勢が養われていない。		
評価項目3	伝統的な言語文化への関心が十分に深まり、また、豊かな心情や想像力が十分に養われている。		伝統的な言語文化への関心が深まり、また、豊かな心情や想像力が養われている。		伝統的な言語文化への関心が深まっておらず、また豊かな心情や想像力が養われていない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ⑥							
教育方法等							
概要	現代文・古典・表現・語彙の4領域をバランスよく学習することで、日本語を通じて的確に理解し適切に表現する能力を伸ばすだけでなく、伝統的な言語文化への関心を深め、豊かな心情や想像力を養う。また、4技能(話す・聞く・書く・読む)における言語活動の実践を通じて、伝え合う力の育成を図るだけでなく、論理的かつ主体的に思考し、判断し、表現する姿勢を養う。						
授業の進め方・方法	授業は講義・演習形式で行う。いずれの形式であっても、学生には口頭発表や作文等を通じて、自分の考えを表現する機会を設ける。また、計画的に漢字テストと評論速読トレーニングを行い、国語の運用において必要な知識を習得してもらう。						
注意点	中間試験と期末試験を60%程度、小テスト・提出物・表現活動を40%程度で評価する。なお、読書体験発表会での発表、各種コンクールへの参加や入賞など、日本語表現分野での優れた取り組みについても加点する。 ※シラバスは、状況に応じて変更することがあるので、注意して下さい。※2023.9.22修正。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、【小説】「鞆」、評論速読①		授業の進め方・評価方法を理解する。小説の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。		
		2週	【小説】「鞆」、漢字テスト①		小説の内容を理解し、考えを深める。漢字能力と語彙力を向上させる。		
		3週	【小説】「鞆」、評論速読②		小説の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。		
		4週	【小説】「鞆」、漢字テスト②		小説の内容を理解し、考えを深める。漢字能力と語彙力を向上させる。		
		5週	【小説】「鞆」、評論速読③		小説の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。		
		6週	【随想】「地球上の『旅人』」、漢字テスト③		随想の内容を理解し、考えを深める。漢字能力と語彙力を向上させる。		
		7週	【随想】「地球上の『旅人』」、評論速読④		随想の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。		
		8週	【随想】「地球上の『旅人』」、漢字テスト④		随想の内容を理解し、考えを深める。漢字能力と語彙力を向上させる。		
	2ndQ	9週	前期中間試験		前期中間試験を実施する。		
		10週	前期中間試験の答案返却と解説		前期中間試験の解答を理解する。		
		11週	【小説】「山月記」、評論速読⑤		小説の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。		
		12週	【小説】「山月記」、漢字テスト⑤		小説の内容を理解し、考えを深める。漢字能力と語彙力を向上させる。		
		13週	【小説】「山月記」、評論速読⑥		小説の作者について理解する。正確に早く読む力を高める。		
		14週	【小説】「山月記」、漢字テスト⑥		小説の内容を理解し、考えを深める。漢字能力と語彙力を向上させる。		
		15週	【小説】「山月記」、評論速読⑦、漢字テスト⑦		小説の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。漢字能力と語彙力を向上させる。		

		16週	前期定期試験／前期定期試験の答案返却と解説	前期定期試験を実施する。前期定期試験の解答を理解する。
後期	3rdQ	1週	【評論】「コンクリートの時代」	評論の内容を理解する。
		2週	【評論】「コンクリートの時代」、評論速読⑧	評論の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。
		3週	【評論】「コンクリートの時代」、漢字テスト⑧	評論の内容を理解し、考えを深める。漢字能力と語彙力を向上させる。
		4週	【評論】「コンクリートの時代」、評論速読⑨	評論の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。
		5週	【小説】「藤野先生」、漢字テスト⑨	小説の内容を理解し、考えを深める。漢字能力と語彙力を向上させる。
		6週	【小説】「藤野先生」、評論速読⑩	小説の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。
		7週	【小説】「藤野先生」、漢字テスト⑩	小説の内容を理解し、考えを深める。漢字能力と語彙力を向上させる。
		8週	【小説】「藤野先生」、評論速読⑪	小説の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。
	4thQ	9週	後期中間試験	後期中間試験を実施する。
		10週	後期定期試験の答案返却と説明	後期中間試験の解答を理解する。
		11週	【評論】「自分を捉え直す」、漢字テスト⑪	評論の内容を理解し、考えを深める。漢字能力と語彙力を向上させる。
		12週	【評論】「自分を捉え直す」、評論速読⑫	評論の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。
		13週	【評論】「自分を捉え直す」、漢字テスト⑫	評論の内容を理解し、考えを深める。漢字能力と語彙力を向上させる。
		14週	【随想】「それぞれのしっくりくる言葉」、評論速読⑬	随想の内容を理解し、考えを深める。正確に早く読む力を高める。
		15週	【随想】「それぞれのしっくりくる言葉」、後期の振り返り	随想の内容を理解し、考えを深める。後期の学びを振り返る。
		16週	後期定期試験／後期定期試験の答案返却と説明、一年間の総括	後期定期試験を実施する。後期定期試験の解答を理解する。一年間の学習の成果と今後の課題を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	前3
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	2	前14
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	2	後15
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	1	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	1	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	1	

			収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	2	
			情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	2	
			情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	2	
			目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	2	
			課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	
			グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	2	
			どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	2	
			適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	2	
			事実をもとに論理や考察を展開できる。	2	
			結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	2	

評価割合			
	試験	その他	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100